



特集

地域の農業を未来へつなぐ
生産性向上と労働力確保の取り組み



若手と共に、イチゴにかける夢

今月の
表紙

たけうち ひでよ
竹内 英世さん (72)

3月に入り、イチゴの収穫の最盛期を迎えた盛岡市三本柳の竹内園芸。黄色い看板が目印の直売所では、イチゴの甘い香りがハウスいっぱいに広がり、試食をしながらイチゴを購入する人々の笑顔や、スタッフの品種ごとの特徴を説明する弾んだ声が響き渡っています。代表の竹内英世さんは、販売日のみ掲げている「いちご直売所」の旗に目を向けながら「今は週3、4日の販売ですが、生産量を増やしてこの旗を毎日立てることが目標です」と笑顔で語ります。

現在、イチゴをはじめ、ネギ、ミ



一人ひとりの思いをカタチに
『食農立国』とは、JAいわて中央管内で生産される農畜産物や地域のブランド化を目指した商標登録名です。JAいわて中央が目指す『食農立国』には、食を囲む人たちと、農業を営む人たちとの繋がりを大切に、『その食卓の向こうに安全・安心で美味しい農畜産物と美しい農村の風景を提供し続けたい』という思いが込められています。

ニトマトなどを栽培する英世さん。長年兼業農家として携わっていましたが、定年退職を機に専業農業に転身し、農地も拡大。「体力があるうちにやりたいことに挑戦したい」との思いで、一昨年からイチゴ栽培を取り入れ、今シーズンは2棟のハウスで4品種を栽培しています。

同農園では、仮植したイチゴの苗を9月下旬に定植し、その後定期的な肥培管理を経て、12月下旬から翌年6月上旬にかけて収穫を行います。また、栽培には閉鎖型高設栽培(底面給水型)システムを導入し、腰高に組み立

長男・陽輔さんが経営するカフェレストラン瑠奈(盛岡市津志田)では、昨年
から自販機でのイチゴ販売を開始。入
荷後はすぐ売り切れるなど、消費者か
らも好評です



竹内園芸では、ペリーホップすず、ペリーホップはるひ、よつぼし、スターナイトの4品種のイチゴを栽培しています



「イチゴ栽培の導入に欠かせない存在だった」と栽培や販売を共に協力してきた楽さんに感謝の気持ちを話す英世さん

目次

CONTENTS

未来へつなぐ食農立国	2
竹内 英世さん(盛岡市)	
特集	4
地域の農業を未来へつなぐ 生産性向上と労働力確保の取り組み	
NewsFile	8
冬野菜をテーマに遊ぼう! 子育てサークル「びよびよ」 他	
営農情報	10
水稻の圃場準備と播種作業について 他	
フレッシュ部レポート	12
食べてみて!おらほのイチオシ	
まちのスマイル	13
サン・フレッシュ都南さ おでつてくなんせ!	
インフォメーション	14
ICクレジットカードのご利用について 他	
今月のレシピ	16
タイのオイル焼きたっぶりの野菜ソース	



JAいわて中央のホームページでは、広報誌のバックナンバーを公開しています。
詳しくはこちら▶



てられた架台の上で培地を作るこの方法は、かん水チューブの設備が不要となることや作業のしやすさなどが大きな利点です。

英世さんが栽培管理の中で特に大事と話すのは、培地管理です。一般的なイチゴ栽培用の培地よりも軽量で、長期間使用できるスギ樹皮を培地に採用。収穫期後の補充など毎年管理を行いつつ、苗がしっかりと根付く柔らかな培地を維持しています。英世さんは夏場の培地管理の大変さについても触れ、「イチゴの収穫作業は華やかなイメージもありませんが、こうした地道な管理が大切です。手を掛けて心残りなく育てています」と力を込めます。イチゴは、少しの温度変化が品質を大きく左右するほど繊細な果実。そのため、温度や水の管理、摘花作業などの細やかな管理で、甘みが凝縮した高品質なイチゴ生産につながっています。

複数品目の生産・出荷にあたり、常時スタッフを雇用している英世さん。中には将来就農を希望する若手スタッフも多く、3月末で同農園を卒業し岩手県立農業大学校へ進学する佐藤楽さん(27)もその一人です。楽さんは「挑戦したいことを実践させてもらった事がありがたかった。これから技術をさらに身に付け、将来はイチゴやミニトマトの栽培に挑戦したい」と意気込みを語り、英世さんは「彼の夢を応援したいし、これからの楽しみで」とエールを送っています。

今後について「現状を維持しつつ、既存の施設を活用して規模拡大を目指していきたい」と話す英世さん。ひたむきに農業と向き合う姿が、今日も農園に活気を与えています。

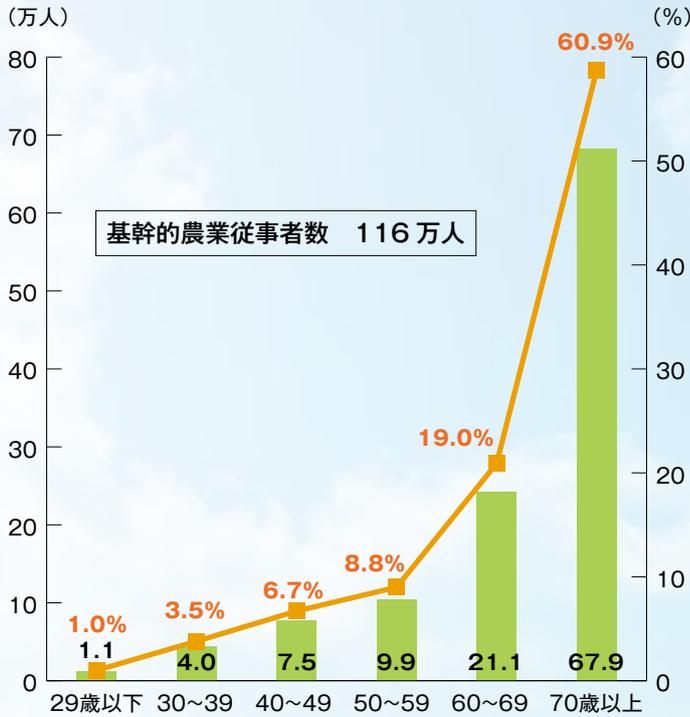
地域の農業を未来へつなぐ

生産性向上と労働力確保の取り組み

J Aでは、将来にわたって持続可能な農業を振興することを目指し、農業経営支援や労働力確保に取り組んでいます。

今月の特集では、J Aが進める具体的な取り組みの事例についてご紹介します。

基幹的農業従事者数の年齢構成（令和5年）



資料：農林水産省「農業構造動態調査」

注：基幹的農業従事者とは、15歳以上の世帯員のうち、主に自営農業に従事している者（雇用者は含まない）。

日本の農業が抱える問題の一つとして、農業者の高齢化・後継者不足が著しく進展しています。基幹的農業従事者数は、平成12年の約240万人から令和5年には約116万人と半減し、年齢構成のピークは70歳以上層となっています。また、20年後の基幹的農業従事者の中心となることが想定される60歳未満層は、全体の約2割の22万人程度に留まっています。

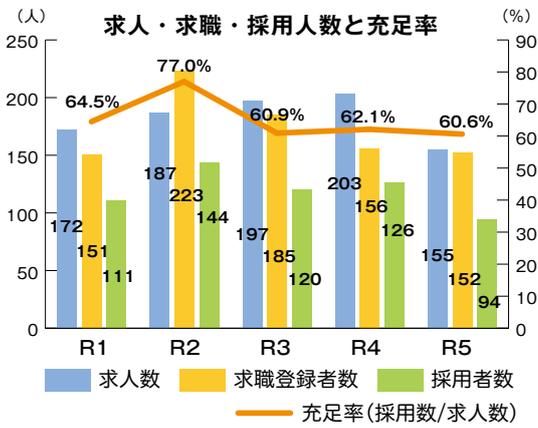
さらに、近年の気候変動が引き起こす豪雨や干ばつ、高温などの異常気象は頻発化・激甚化しており、農産物の品質や収量、安定した農業経営に大きな影響を与えています。今後、更なる農家の減少が見込まれる中、食料の供給基盤の維持を図り、将来にわたって持続可能な農業を確立するためには、生産性向上や作業効率の改善、労働力確保が重要な課題です。J Aでは、これらの課題を解消するために、農繁期の労働力確保に向けた求人者・求職者のマッチングやスマート農業の導入による農業経営支援などに取り組んでいます。

労働力確保

無料職業紹介所

J Aの無料職業紹介所では、労働力を求める方と農作業で収入を得たい方のマッチングや雇用に関わる支援を行っています。希望する労働条件を確認し、J A担当者同行のもと、両者の面接を実施するなど、雇用が初めての方や農作業が初心者の方にも安心のサポート体制となっています。

同紹介所では、平成29年2月の開設以降、広報誌・SNS



求職者向けの農作業体験会

を活用したPRや各種イベントへのブース出展を行うなど、事業の周知に積極的に取り組み、年度で増減はあるものの、安定した求人者数・求職登録者数を確保してきました。特に、令和2年度は、コロナ禍の影響によるリモートワークの導入や収入の減少などが影響し、兼業・副業を希望する求職者が増加。その結果、開設以降初めて求職登録者数が

求人数を上回るなど、同紹介所の需要が高まりました。営農販売部担い手対策課の庄子司課長は「人を雇用する時は、労働条件の明示や書面交付、労働保険への加入、仕事上の事故の補償など、労働者に対する様々な責任が発生します。現在の雇用において手続きや必要書類などに不備が無いが改めて確認しましょう」と話しています。



求職に関する個別相談会

雇用につわる



無料職業紹介所に寄せられた雇用に関する質問(一部)をご紹介します

Q1 個人事業主が1人でも雇用した場合、「就業規則」を作る必要がありますか？

A 10人未満の場合、就業規則の作成は義務ではありませんが、雇用のルールを作ることでそのつど対応する必要がなくなります。また、雇用される側も安心して働ける環境が整います。

Q2 スキマ時間にアルバイトができるアプリ「タイミー」を利用したいと思いましたが、手数料が高いです。何か助成はありますか？

A J Aいわて中央の指定したQRコードからご登録いただく場合、令和7年4月以降の利用に関しては、J A全農いわての協力を得て助成金の支給を計画しています。詳しくは無料職業紹介所へお問い合わせください。

Q3 アルバイトの雇用しかない場合、労災保険に加入しなくてもよいでしょうか？

A 労働者の不注意による怪我だとしても、労働上で発生した災害は雇用主が補償しなくてはならないことが法律で定められています。補償責

任を果たすためにも労災保険の加入をおすすめしています。

Q4 予定していたよりも早く収穫が終わりました。業務がないので、契約を終了して良いでしょうか？

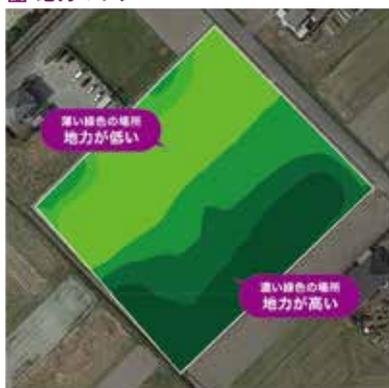
A まず、雇用期間・更新の上限(通算契約期間)の明示が必要です。有期契約の場合、雇用主はその期間、雇用する義務が生じ、基本的に契約期間を短縮することはできません。短縮する場合は期間満了までの賃金分の支払義務を負うことになります。(民法第536条2項)

基本機能



農家の目（確認）をサポート

例 地力マップ



こんな課題をお持ちの方に！

- 地力ムラで収量にバラつきがある
- 生育ムラを把握するのが難しい
- 追肥のコストが高い など

衛星画像をAI解析した「地力マップ」や「生育マップ」で、圃場の地力ムラや生育ムラの確認が可能。施肥量の調節や追肥の判断材料に活用できます。



農家の頭（判断）をサポート



こんな課題をお持ちの方に！

- 雑草の管理に悩んでいる
- 薬剤散布の適期が分からない など

AIが品種ごとの特性や天候等を分析し、生育進度や病害リスクを予測。対処すべき雑草にあわせた適期防除で収量アップが期待できます。



農家の手（作業）をサポート



こんな課題をお持ちの方に！

- 均一散布で生育ムラが解消しない
- 可変施肥の設計ハードルが高い など

各メーカーのスマート農機に対応した可変施肥や可変散布が可能。作業効率の向上や農薬・肥料のコストダウンにつながります。

ザルビオ®に関する お問い合わせ・お申し込み

営農販売部担い手対策課
☎ 676-3428
または各地域営農センター
営農経済相談チームまで

J Aでは、営農管理システム「Z-GIS」や営農計画策定支援システム「Z-BFM」のほか、ザルビオ®の導入支援を行い、農業経営の効率化やデータ活用による生産性向上に取り組んでいます。

Xarvio®フィールドマネージャー（以下、ザルビオ®）は、J A全農とBASFデジタルファーマーリング社が提供する栽培管理支援システムです。衛星画像とAI（人工知能）分析を活用し、スマート農業の初

ザルビオ® フィールドマネージャー

生産性向上

CASE
2





AI分析による可変施肥実証について

(JA岩手県営農指導員研究発表集会 優良賞)



営農販売部担い手対策課
米田 菜摘 職員

実証実験の内容

試験の目的はAIを活用した可変施肥による圃場の生育ムラの改善です。ザルピオ®とクボタ社の営農管理システムksasとの連携による、田植え時の側条可変施肥をメインに、ドローンでの追加散布と収量コンバインでの収量調査を行いました。

区名	品種名	基肥	基肥(肥料名)	追肥
可変施肥区(約24a)	鏡河のしずく	24kg/10a	水稲255 (20-15-15)	窒素成分3kg/10a ドローン用追肥肥料 (成分40-0-5)
慣行区(約30a)		30kg/10a		



クボタの可変施肥田植え機での作業の様子

実証実験から分かること

ザルピオ®を基本料金で導入した場合、地力・生育マップをもとに、基肥3.7kgの削減または2.1kgの増収とすることで、費用を上回る収益となります。今回の実証実験では田植え時の側条可変施肥の計画を策定した時点で、慣行区と比べ、基肥で6kgの削減を達成していたため、10aあたり1,075円の肥料の節減となり、費用対効果についても実証することができました。

ザルピオ基本料金(2ha) ¥13,200
10aあたり 660円

基肥で**3.7kg**の削減

2.1kgの収量増

米田職員コメント

ザルピオ®の活用により、生育ムラの解消に加え、病害の早期発見と迅速な対応が可能となり、収量の安定化と品質向上、さらに肥料や農薬にかかるコスト削減が期待できます。他産地での活用事例としては「収量が15%アップした」「20~25%程度の肥料の削減につながった」といった成果も報告されています。

登録した圃場から蓄積されたデータはAIが学習・分析し、使用者に合わせた最適な栽培管理を提案してくれるため、ベテラン農家の経験や勘をデータで「見える化」することができます。さらに、後継者へのスムーズな事業継承が可能となるほか、農業経験が少ない新規就農者にとっても、データに基づいた適切な意思決定がしやすくなる点が大きな魅力の一つです。

実証実験の結果

6月時点の生育のバラつきは3.1%、生育良好エリアの分布があるものの、生育ムラが著しい状態になっていました。約1ヶ月後には側条可変施肥の効果が表れ、バラつきは2.4%まで改善され、全体的に生育良好ゾーンが広く分布し、生育ムラの解消につながることができました。可変施肥対応の農業機械だけではなく、動噴やドローンといったお手持ちの農機具や散布機等でも、手動可変施肥を行っていただくことも可能です。

2024年6月20日時点



2024年7月21日時点



盛岡市・下飯岡

浅沼 勝巳さん

利用者の声!

一昨年は、異常気象の影響を受け、収量が目安に届かない危機的な状況に見舞われました。年々請け負う面積が増えているものの、初めて作付けする圃場は状態や特性が分からず、管理に苦労していました。

ザルピオ®の導入にあたっては、圃場の登録や操作方法についてJAがこまめにサポートしてくれたので、順調に進みました。圃場の地力や生育状況はマップで確認することができ、把握に時間が掛かる基礎情報をすぐに得ることができたので助かりました。また、水管理や施肥、雑草の防除時期、病害発生リスクをAIが予測してアラートが通知されるので、適期作業にもつながります。特に昨年はザルピオ®のアラートのおかげで紋枯病の発生を初期段階で発見することができ、早期防除につながりました。



フェルトでできたダイコンで寒干しダイコンづくりに挑戦する親子



冬野菜をテーマに遊ぼう！ 子育てサークル「ぴよぴよ」

YouTube



JAの子育てサークル「ぴよぴよ」は2月19日、盛岡体育館で「親子ふれあい遊び～冬のおやさいフェスティバル～」を開き、会員6組が参加しました。

参加者は、元幼稚園教諭で盛岡市生涯学習指導者の澤田章子さんの指導のもと、冬野菜をテーマにした制作やゲームなどを体験。手作りの収穫バックに飾り付けをし、フェルトで作った雪下ニンジンの収穫などを楽しみました。参加したお母さんは「子どもと一緒に身体を動かして、楽しく活動が出来てよかった」と感想を寄せました。



リンゴと牛肉をPR！ タイで宣伝販売会

JAは1月24日から26日の3日間、園芸品目を中心に取引のある富士シティオ(株)の海外出資会社で、タイ・バンコクに店舗を展開するUFMフジスーパー4店舗で宣伝販売会を行いました。JA役員やいわて純情むすめが店頭に立ち、農畜産物をPR。「盛岡さんさ踊り」の披露も行い、多くの来店者で賑わいました。

JAは平成21年からタイへリンゴの輸出を開始し、昨年度からは牛肉の輸出にも取り組んでいます。



店頭でリンゴを紹介するいわて純情むすめ



総代会では、事業計画などの提出議案が原案通り承認されました



盟友の声を集約し、魅力ある活動に JA青年部通常総代会

JA青年部は2月15日、紫波支所で第26回通常総代会を開き、代議員26人が出席しました。

同部は昨年度、「ちゃぐりんスクール」での稲作指導や子ども食堂支援などを通じた食農教育活動に加え、JAえひめ南青年部との交流会を5年ぶりに開催。今年度も地域農業や農政などに関する学習運動や食農教育を継続して取り組む計画です。山口勝也委員長は「活動の充実と新規盟友の獲得に向け、より魅力ある組織にすべく皆で団結していきたい」と意気込みました。

・ SDGsへの
・ 取り組み

SDGsとは、2015年に国連193の加盟国で採択され、環境問題や社会問題などを解決し、2030年までに「持続可能な世界を実現する」ための世界共通の17の目標です。
JAいわて中央では事業活動や行事などを通じてSDGsの実践に取り組んでいます。



内館市長（中央）と懇談する部員ら



リンゴ生産の未来を市長と懇談
JAりんご部会都南支部青年部

盛岡市は、市長が市民の声を聞く場として『「もりもり」～市長と語ろう！もりおか盛り上げ座談会～』を開催しています。1月30日に乙部農業構造改善センターで開かれた座談会には、内館茂盛岡市長とJAりんご部会都南支部青年部の部会員ら8人が参加し、新規就農支援や盛岡りんごのPR・販売などについて意見を交わしました。

藤原拓也委員長は「生産現場の声を届ける良い機会となった。自信を持って農産物を生産していくためにも、今後も会員一丸となり活動したい」と話しました。



華やかなつるし雛でお出迎え
JA矢巾地域女性部

JA矢巾地域女性部では、同部が企画するレディースセミナーの一つとして開催している「つるし雛教室」で部員が制作したつるし雛の展示を、2月から3月上旬にかけて矢巾地域営農センターの入口ロビーで行いました。

同部のつるし雛展示は9年目を迎え、今年は部員10人が制作した椿やイチゴ、這い子人形など約10種類のつるし雛を組紐でつないで飾り、空間を彩りました。制作した部員は「全体の雰囲気はもちろん、細かい工夫まで鑑賞していただけたら嬉しい」と笑顔を見せました。



つるし雛を鑑賞する部員ら



あいさつをする新本部役員ら



新部長に鎌田都美子さん
JA女性部総代会

JA女性部は2月22日、紫波支所で第26回通常総代会を開き、事業計画など4議案が原案の通り可決されました。同部では今年度もセミナーを通じた部員間交流や福祉活動などに取り組む計画です。

また、役員改選により新本部役員が選出され、部長に鎌田都美子さん（紫波）、副部長に阿部江利子さん（矢巾）・工藤貴子さん（盛岡）が就任。鎌田部長は「活動を引き継ぎつつ、新しい事も取り入れたい。また、声をあげやすい雰囲気づくりも大事にしていきたい」とあいさつしました。

米穀

水稲の圃場準備と播種作業について

今月の担当
紫波地域営農センター米穀課
副調査役 作山順



昨年の水稲は、登熟期間

の高温の影響により胴割れ粒や白未熟粒の発生による品質の低下が見られました。気象条件による被害を回避するためにも、適期作業（表1）を計画し、安全作期を迎えられるように次のことに注意して作業準備を行いましよう。

品種名 うるち	播種	移植	出穂	成熟 (収穫)
銀河のしずく	4/15~4/25	5/15~5/25	8/5~8/10	9/20~9/25
ひとめぼれ	4/18~4/23	5/20~5/25	8/10~8/13	9/25~10/1

品種名 もち	播種	移植	出穂	成熟 (収穫)
ヒメノモチ	4/17~4/22	5/20~5/25	8/3~8/8	9/15~9/20
こがねもち	4/13~4/18	5/15~5/20	8/12~8/15	10/7~10/12

【表1】 品種ごとの適期作業日

1. 圃場準備

① 基肥

基肥は、品種毎の施肥量を基本に例年の単収や品質の状況を考慮して行いましょう。施肥から入水、荒代までの期間が2週間以上になると、移植時の窒素成分量が減少して生育量の低下のリスクが高まるため、施肥は代かきをするまでの1週間以内に行いましょう。

② 耕起・代かき・畦畔の準備
耕起は、水稲の根域を拡大し、根の活力を維持するために15cm以上の深耕となるようにしましょう。代かきは、除草剤の効果を高めるためにも丁寧に行いましょう。畦畔の穴や崩落部分が無いか点検し、漏水対策や低温に備えて深水管理（15cm）が実施できるように、畦塗りや畦畔のかさ上げを行います。

2. 播種作業

① 種子の準備

今年使用する種子は、昨年と同様に消毒済み種子が配布されます。品種によっては無消毒種子が配布されますので、無消毒種子は必ず種子消毒を行いましょう。また、作業前には必ず種子の品種を確認してから小分け作業等を行いましょう。

② 浸種作業

浸種時の水温が低いと発芽率は低下します。水温は10℃以下にならないように12~15℃で7~10日間、浸種を行きましょう。また、2~3日に1回は水の交換を行い、種籾の上下を換えるようにしましょう。

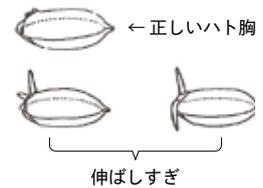
もち品種は、うるち品種に比べて芽が動きやすく浸種中に発芽する場合があります。ため十分に確認しましょう。

③ 催芽作業

催芽はハト胸とし、伸ばしすぎないようにしましょう。

（図1）

催芽温度は、細菌病を発生させないためにも30℃を



【図1】 催芽確認の目安

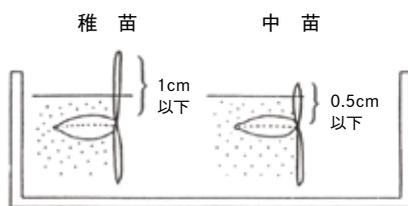
厳守し、水は循環させないようにしましょう。また、催芽機や育苗器を使用する前に、設定した温度が正しいか必ず確認しましょう。

④ 播種作業

極端な厚まきは軟弱な苗となり、病気の発生や苗の老化を助長するので適正な播種量（表2）を守りましょう。作業を行う前に播種機で設定した播種量が正しいか確認しましょう。また、病害を防ぐためにも種籾が隠れるように覆土をしっかり行いますが、覆土が厚くなりすぎないように注意しましょう。

⑤ 出芽作業

出芽揃いを良くするために加温出芽を行きましょう。出芽は細菌病を発生させないためにも28~30℃の温度



【図2】 出芽長の目安

で行いましょう。また、出芽長が長すぎると徒長しやすくなるため、稚苗は1cm以下、中苗は0.5cm以下としましょう。

	稚苗			中苗	
乾籾	180g	160g	140g	120g	100g
催芽籾	225g	200g	175g	150g	125g

【表2】 適正な播種量の目安

園芸

凍霜害に備えましょう！

現在、果樹の生育ステージは発芽期前となっていますが、今後開花期に近づくにつれ、凍霜害の危険性が高くなります。特に、例年凍霜害を受ける園地では、注意が必要です。今後は毎日の気象情報に注意し、事前対策の徹底を図りましょう。

防止策① 霜溜まり解消

傾斜地の場合、園地の下側に障害物となるもの(機械や資材等)があると、霜溜まりが発生してしまいます。移動ができるものは撤去しましょう。また、園地周囲の防風ネットが冷気の流れをせき止めるような場合は、巻き上げておくか、はずしておきましょう。

防止策② 燃焼法 火の管理には十分気を付けましょう

降霜は、数日間連続することが多いため、燃焼法で対応可能な園地では、燃料(市販の防霜資材、灯油等)を十分準備しておきましょう。

火点数は概ね30~50カ所/10a以上を確保し、風上側に

多く配置しましょう。また、着火は気温が0℃になる直前に行いましょう。

※火災と紛らわしい煙を出すときは、消防署への届出が必要です。

防止策③ 防霜資材散布

「霜ガード」はゼオライトに肥料を添加した多孔質乾燥資材です。気温が比較的高い時間帯に散布すると、ゼオライトが日中の温かい空気を抱え込み、凍霜害を軽減します。また、「アイスバリア」は天然糖類トレハロースを主成分とした液剤です。トレハロースが耐寒性を向上させ、凍霜害対策に有効です。その他、散水氷結法や防霜ファンによる対策もあります。

凍霜害対策におすすめ



霜ガード
10kg / 4,752円(税込)
10aあたり散布量 300ℓ
10aあたり必要資材量 6kg(50倍)
10a単価 2,852円(税込)
散布回数 3~4回



アイスバリア
1.1kg / 2,498円(税込)
10kg / 21,565円(税込)
10aあたり散布量 300ℓ
10aあたり必要資材量 1kg(300倍)
10a単価 2,272円(税込)
散布回数 2~3回



デュラフレイム(燃焼資材)
1本 / 1,265円(税込) ※輸入品のため
10aあたり必要資材量 約30本 在庫に限り
10a単価 37,950円(税込) があります

資材に関するお問い合わせ

各地域営農センター園芸特産課または各グリーンセンターまで

子牛市場情報 (令和7年2月12日・中央家畜市場)

区分	地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
雌	紫波	17	556,000	320,000	434,647	301	16,480
	矢巾	8	420,000	318,000	362,125	280	-82,375
	盛岡	9	631,000	353,000	466,333	298	9,666
	J A 計	34	631,000	318,000	425,971	295	-5,219
	市場計	103	631,000	227,000	398,223	285	-41,624
去勢	紫波	15	704,000	366,000	512,133	314	-25,248
	矢巾	11	644,000	386,000	513,727	319	-48,973
	盛岡	7	752,000	555,000	617,429	343	102,429
	J A 計	33	752,000	366,000	535,000	322	-5,595
	市場計	164	799,000	210,000	521,506	321	-10,024

第13回全国和牛能力共進会 (令和9年8月開催・北海道大会)に 向けた取り組み



全国和牛能力共進会岩手県出品対策委員会では、次回大会に向けた取り組みを進めています。

詳しくはこちら



お問い合わせ

営農販売部畜産課 ☎676-3512

牛革を使って小物づくりに挑戦！ レザークラフト教室



好みの模様や色を付けた本格的な革小物が完成しました

JAフレッシュ部は2月17日、矢巾地域営農センターでレザークラフト教室を開き、部員ら8人が参加しました。

参加者は、紫波町佐比内でレザークラフト教室を主宰する佐々木栄子さんらの指導を受けながら、長財布や名刺入れ、コインケースなど8種類から好きなアイテムを選び、制作に挑戦。好きな模様の刻印を選び、木づちを使って革に模様を付けたり、専用のインクを使った色付けを楽しみながら、およそ5時間をかけて作品を完成させました。同部の藤倉千春部長は「今回も皆で楽しく活動ができた。今後は料理教室なども企画していきたい」と話しました。

部員
募集中!

【女性部・フレッシュ部加入のご相談・お問い合わせ】

紫波地域 ☎676-3342 矢巾地域 ☎697-6211

盛岡地域 ☎656-3700



— 春の訪れを感じる、
昔ながらの和菓子 —

おすすめは

南昌の桜餅

菓子工房・孫兵衛堂の春のおすすめ品「南昌の桜餅」は、もち米を丁寧二度蒸して、米粒が残る程度につくことで、コシと弾力のある食感に仕上げた一品。三温糖の優しい甘さが引き立つあんこと、桜の葉の香りと塩気が絶妙にマッチし、春を感じる上品な味わいが広がります。同工房では、店主が自家栽培した「ひとめぼれ」や「ヒメノモチ」を原料に使用しており、大福やよもぎもち、がんづき、きりせんしょなどの多彩な和菓子は、昔ながらの素朴で優しい味わいが、地元住民に広く愛されています。全て手作りで仕上げる同工房こだわりの商品は、サン・フレッシュ都南などで通年販売しています。

食べてみて!

おらほのイチオシ

矢巾町・広宮沢

菓子工房

まごべえどう

孫兵衛堂

TEL 697-2735

【電話受付時間】9:00~17:00

〈主な販売先〉

○サン・フレッシュ都南

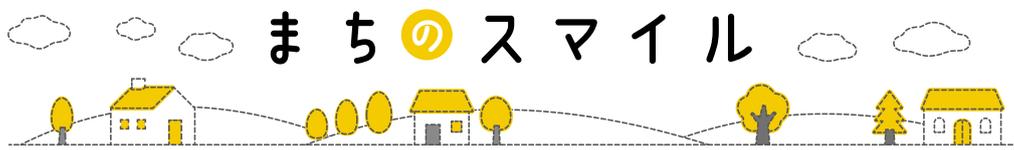
○Aコープ飯岡駅前店

○じゃんまる津志田店

○マルイチ

○南昌の湯

(矢巾町国民保養センター)



なかよし
ファミリー



盛岡市・乙部

おおざくら てつ お まさこ
大櫻 哲男さん(78) 正子さん(74)

リンゴなどの農作業の傍ら、地元の郷土芸能に長年携わっている大櫻さんご夫婦。乙部地区に伝わる「法領田獅子踊り」の保存会会長を務める哲男さんは「太鼓の音色と獅子頭の舞が魅せる迫力が自慢です」と話します。また、踊り手として「乙部さんさ踊り」に参加する正子さんは「若い世代にも伝承していきたい」と期待を込めます。

昨年結婚50周年を迎えたお二人は「これからも7人の孫の成長を見守り、郷土芸能を楽しみながら二人で長生きしたいです」と笑顔を見せています。



サブセンター盛岡 園芸特産課

かわむら りゅうせい
川村 龍聖さん(令和5年入組)

キュウリをはじめとする野菜全般と花きの栽培指導などを担当しています。普段からコミュニケーションを大事にし、上司や先輩方に小さな事でも報告・相談をしながら、組合員の皆さんからの相談に対して、適切な回答で栽培における不安の早期解消につながるよう心掛けています。

学生時代は小・中・高とサッカーに打ち込み、体を鍛えながら仲間と楽しい日々を過ごせたことが今でも思い出です。最近は車の洗車や車仲間とのツーリングが趣味で、目的地での食べ歩きも楽しみになっています。



サン・フレッシュ都南さ
おでっくなんせ!

今月は「春彼岸」

サン・フレッシュ都南では、3月15日から20日の6日間、春のお彼岸フェアを開催します。期間中、当店人気の生花コーナーでは、切り花や花束の品揃えがさらに充実し、他にもお団子や大福などの商品も豊富に揃います。

また、3月29日・30日には「サンサン大市」を開催します。2日間限定の商品やたくさんの催しをご用意していますので、ぜひお越しください。



イベント情報

〈3月29日(土)~30日(日)〉

- サンサン大市
- しわもちもち牛フェア
- サンサンクラフト市



高橋店長

「サンサン大市」と同時開催で「クラフト市」を開催します。雑貨品などが揃いますのでお楽しみに!

サン・フレッシュ都南

住所 〒020-0853 盛岡市下飯岡 21-180
TEL 637-6801
営業時間 9:00~18:00



CROSSWORD クロスワード

二重マスの文字をA～Dの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクロスワードの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送りください。正解者の中から抽選で、「JAやサン・フレッシュ都南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月のテーマ

新社会人の思い出

応募締切 3月28日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20

＼コチラから／

JAいわて中央

「JAんぷ3月号お楽しみクイズ」係

ホームページ

広報誌プレゼント応募フォーム ▶

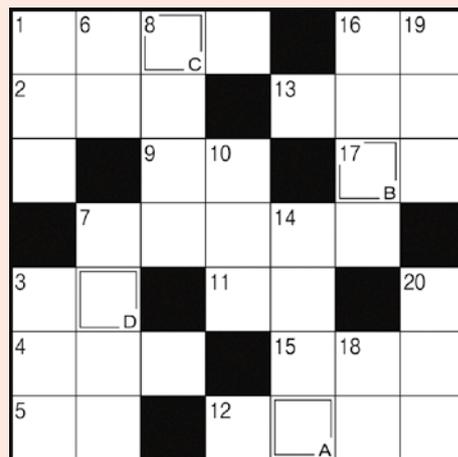
E-mail

kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp



2月号の答え

「リュウヒョウ」



→
ヨ
コ
の
カ
ギ

- ① 3月14日は——デー。バレンタインデーのお返しを渡すのによい日です
- ② お手洗いともいいます
- ③ パレーボールのセッターが上げるもの
- ④ 梅は咲いたか、——はまだかいな
- ⑤ 日本一長いものは367kmあります
- ⑦ イソップ—— 源氏——
- ⑨ 失敗は成功の——
- ⑩ 水戸、尾張に並ぶ徳川御三家
- ⑫ 羽ばたいて飛べるほ乳類
- ⑬ 漢字では「梭子魚」などと書く魚
- ⑮ 草餅によく使われる植物
- ⑯ お彼岸に参る人も多いところ
- ⑰ 弾力がある、噛んで食べる菓子

↓
タ
テ
の
カ
ギ

- ① ——造って魂入れず
- ③ ニワトリの頭についています
- ⑥ エックスの次です
- ⑦ 赤の広場やクレムリンがあります
- ⑧ 卒業証書の——は筒よりファイルが主流になりました
- ⑩ 脚本に書かれているセリフ以外の文章
- ⑫ 地球を暖める天体
- ⑮ ひな祭りのお吸い物につきものの貝
- ⑰ ひな祭りに飾る花
- ⑲ 春の景色がぼんやりとして見える原因
- ⑳ 細川たかしのヒット曲「——の渡し」



おたより紹介 テーマ▶ 健康の秘訣



私の健康の秘訣はカラオケです。人前で歌うためには、ある程度練習も必要です。緊張感を持って伴奏に合わせて、歌詞に感情を込めて大きな声で歌えば、気分爽快です。体全体が温かくなり、血の巡りが良くなり、健康に良いですよ。

(桜町・S/86歳)

食べる時間を決め、腹八分目にし、カロリー摂取量に気を付けて歩くように心掛けます。

(名須川町・H/40歳)

よく食べ、よく働き、よく寝ることで。朝食を十分に摂って働くと、仕事の能率も良く、夜中もぐっすりと眠れます。朝起きてても疲れを感じず、健康な毎日を過ごしています。

(北郡山・M/75歳)

好きな物を食べて、週一回は温泉に行き、好きな読書をする事です。50代を過ぎて、なるべく自分ファーストでストレスを溜めないようにしています。

(二日町・A/55歳)

冬はとにかく体を温める。生姜紅茶や味噌汁、鍋物を食べる、規則正しい生活をする。あとはよく笑うことです。

(愛知・K/51歳)

私の健康法は「ラジオ体操」です。体調・体温ともに整いますよ。

(永井・O/75歳)

96歳の母の健康の秘訣は「よく噛んで食べること」だそうです。この年齢で歯もほぼ揃っているの、感心します。

(東長岡・K/64歳)

- 11 令和7年度購買品供給手数料率の設定
- 10 令和7年度販売手数料率等の設定
- 9 固定資産(JASTEM 末・オープン出納機)の取得
- 8 令和7年度借入金 の最高限度額の設定
- 7 令和6年度減損会計における資産のグルーピング
- 6 令和8年度職員の採用方針
- 5 組合員の出資減口
- 4 令和7年度内部統制システム基本方針
- 3 令和7年度内部監査計画
- 2 役員責任調査委員会審議結果に基づく対応
- 1 JAバンクに対する「JAいわて中央不祥事再発防止策(令和7年1月)」の取組状況報告

【決議事項】

2月定例理事会が2月27日、紫波支所で開かれた次の事案について決議されました。

理事会報告

役員手帳



希望の持てる
今後の農政に期待

常務理事
菅原 弘範

今年も間もなく農作業が始まる季節となってきましたが、農作業事故に十分気を付けて作業を進めていただきたいと思います。

さて、令和6年産米は、コロナ禍が収まりインバウンド等で需要が増大したことなどもあり、農家にとっては再生産に意欲が持てる高単価となりましたが、肥料・農薬などの生産資材価格の高止まりもあり、米価が大きく下がることなく適正な価格が維持されることが望めます。また、果樹や野菜などについても、温暖化による猛暑の影響などもあり生産量が減少しましたが、比較的高い単価に恵まれました。

日本の食料自給率(カロリーベース)は、都道府県別で100%を超えているのは岩手県を含む6道県のみで、全体では38%に留まるなど、主要先進国の中では低い状況で推移しております。気候変動や世界の人口増加などで食料供給が不安定となるリスクが高まる中で、農政の基本方針となる食料・農業・農村基本法が改定・施行され、現在、具体策の検討が進んでおりますが、今後は様々な観点から農家の皆さんが農業に期待が持てるような施策を盛り込んでほしいと願っているところです。

INFORMATION

令和7年4月1日より ICクレジットカードのご利用に 暗証番号の入力が必須となります



ICクレジットカード不正利用防止を目的としたセキュリティ強化の一環として、令和7年4月1日以降、店頭でのICクレジットカードご利用時の本人確認方法は暗証番号の入力が原則必須となります。これにより、サイン(署名)などの方法により本人確認を行うことができなくなりますので、暗証番号をお忘れの場合は、事前に登録内容のご確認をお願いいたします。

クレジットカードがご利用できるJA店舗

- グリーンセンター紫波・矢巾・都南・盛岡
※グリーン紫波東部・盛岡東部ではご利用いただけません
- 車輛センター ● 農機センター

詳しくは(一社)日本クレジット協会のホームページをご確認ください

職員募集のお知らせ

JAいわて中央では、下記のとおり臨時職員を募集します。

臨時職員 採用人数 若干名

採用時期 令和7年4月1日

就業時間 8:30~17:00

勤務場所 紫波地域営農センター(紫波町桜町字上野沢38-1)

賃金 月給151,000円~170,000円+交通費

職種 米の受入業務および事務作業等



「令和8年度採用職員」など
その他採用情報はJAホームページにて
公開しています

詳しくは
こちら



お問い合わせ 企画管理部人事教育課 ☎673-7481 担当:長谷川

お詫びと訂正

2月号の記載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
【11ページ・お問い合わせ先の変更について】

旅行プランのご相談・お申込み
に関する紫波支所のお問い合わせ先について

紫波支所

(誤) 980-6121

(正) 908-6121



タイのオイル焼き たっぷりの野菜ソース

材料(2人分)

タイ	2切れ
新ジャガ	1個
新タマネギ	1/2個
トマト	1個
カブ	1個
スナップエンドウ	2本
ニンニク	1片
カブの茎	適宜
オリーブ油	適宜
塩・こしょう	適宜
白ワイン	50ml
ローズマリー	1本
レモン汁	小さじ1

作り方

- 1 タイにあらかじめ塩・こしょうを振っておく。新ジャガ、新タマネギ、トマト、カブはさいの目に、スナップエンドウは5mm幅に、ニンニクはみじん切りに、カブの茎は細かく切っておく
- 2 野菜のソースを作る。フライパンにオリーブ油大さじ2(分量外)と新ジャガ、新タマネギ、トマト、カブ、ニンニクを入れ、弱火で7、8分ほど炒め、白ワインとローズマリーを入れ中火で5分ほど煮込む。仕上がる直前にスナップエンドウとカブの茎を入れ、塩・こしょうで味を調える
- 3 フライパンで野菜を煮込んでいる間に、タイにオリーブ油をかけ、グリルで焼き上げる
- 4 器に2の野菜のソースをひき、3のタイを盛り付け、レモン汁をかけて出来上がり

編集後記



渡邊

おらほのイチオシでご紹介した菓子工房・孫兵衛堂の店主は、以前は牛飼いがメインだったそうですが、ケガを機に16年前から和菓子作りを始め、今も全商品を1人で手作りされています。「ここまで続けて来られたことに感謝し、これからもできるだけ休まずに届けたいです」と笑顔でお話する姿に、私自身もたくさん力をもらった取材でした。



小野寺

農業の現場では、最新技術を導入して効率化を進める一方、長年の経験や直感に基づく判断も大きな価値を持っています。変化の激しい農業の過渡期を力強く進むためには「技術」と「人」の両輪がバランスよく回る事が重要です。長所を活かし、短所を補い合うことで、互いの力を最大限に引き出し、農業の可能性を広げていけると感じています。